

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	人間ドック受診費用補助金(国保特会)		
所管部署	健康部 国民健康保険室		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市国民健康保険被保険者人間ドック受診費用補助金交付要綱		
交付の目的	国民健康保険の被保険者が特定健診に代えて人間ドックを受診した場合に、その費用の一部を助成することにより、健康診査の受診率の向上を図り、もって被保険者の健康維持及び増進に寄与する。		
補助対象経費	人間ドック受診費用の一部		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	個人		
開始年度	平成21年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 〇 その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

	H28	H29	H30
予算額	4,875	4,500	19,500
決算額	4,545	4,500	15,742
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	15,742
	その他	4,545	4,500
	一般財源	0	0

交付実績	H28	H29	H30
	606	600	1,233

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無い確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	国民健康保険は、これまで市町村が保険者として運営を行ってきたが、平成30年度以降は都道府県と市町村がともに保険者となる。都道府県と市町村の役割は国民健康保険法第4条に定められている。そのため、平成30年度以降において、本補助金事業を、大阪府国民健康保険運営方針に基づいて実施している。
対応完了・廃止予定時期	